

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	作物	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者	八重樫 剛		使用教材	実教出版「作物」			
学習目標	<p>○作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>○作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的か協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>○イネの栽培を通して、栽培技術を習得し、経営に必要な実践力を身に付ける。</p> <p>○イネの生理的特徴について理解を深め、課題を発見するための基礎的思考力を身に付ける。</p> <p>○収穫したコメの試食と加工を通じて、食品としての活用方法について学び、農業の振興に取り組む態度を身に付ける。</p> <p>○学習内容を総合し、我が国の食料自給について深く考えさせ社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	イネの栽培に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	イネの栽培に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	コメの生産性や品質の向上が経営発展につながることを理解している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	1 種子の予措・播種	・種子の消毒・浸漬 ・種子の発芽	○	○	○	[知]イネの育苗から移植について基礎的な知識を習得している。 [思]イネの育苗の条件を理解している。 [態]イネの育苗と移植について労働コストを理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	2 育苗	・播種 ・苗の水管理・温度管理	○	○	○		
	3 移植	・機械移植の方法と利点 ・手作業移植の方法と労働コスト	○	○	○		
前期 末	4 分けつ	・生育調査 (草丈、葉齢、莖数)	○	○	○	[知]イネの生育の仕方について理解している。 [思]肥料の効果・土壌条件と生育の関係を理解している。 [態]栽培条件が生育に与える影響を理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	5 施肥	・肥料の三要素と効果 (NPKの役割)	○	○	○		
	6 耕起・代かき	・水田の土壌 ・耕起と代かきの目的	○	○	○		
後期 中間	7 出穂	・出穂のしくみ ・登熟期調査	○	○	○	[知]イネの出穂と穂のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と登熟の関係を理解している。 [態]収穫の方法と労働生産性の関係について理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	8 収穫	・登熟に必要な積算温度 ・機械収穫 ・手作業による収穫	○	○	○		
後期 末	10 乾燥調製	・火力乾燥 ・自然乾燥	○	○	○	[知]収量のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と収量の関係を理解している。 [態]食料としてのコメについて重要性を理解している。また、経営上の課題をみいだすことができる。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	11 収量調査	・収量のなりたち ・異なる条件による収量の違い	○	○	○		
	12 試食・加工	・収穫したコメの試食 ・コメの加工と加工品	○	○	○		

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業経営	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	農業経営(実教)						
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を育成する。						
学習方法	○地域の農業経営などの身近な事例を学習して、マネジメント及びマーケティングについて体系的、系統的に学習する。 ○農業経営の課題の探究に自分の意志や判断に基づき取り組み、経営の発展に関する課題解決に役立つ学習を行う。 ○農業経営のグローバル化や法人化、六次産業化について考えとともに、農業の振興や社会貢献に協働的に取り組む学習を行う。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつなげるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点		単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思		
前期中間	序章 「農業経営」を学ぶにあたって 農業経営とプロジェクト学習 農業経営におけるプロジェクト学習 第1章 農業の動向と農業経営 1節 日本と世界の農業 2節 農業経営の動向 3節 食料消費の動向と社会経済環境 4節 食料・農業・農村政策と関係法規	地域農業の経営事例や統計資料などを用いて、地域や日本および世界の農業の動向、並びに農業経営の形態について学習し、農業経営の仕組みや課題について理解させる。 農業経営とマーケティングの分野に関心を持たせる。 環境保全型農業や有機農産物の生産の動向についても理解させる。 食料の世界的動向を理解させるとともに、それが環境問題や消費の安全問題とのかかわりで、供給の制限要因となっていることを理解させる。 日本の農業経営の特徴と、外国とを比べて特徴を理解させる。 農業・農村には、どのような役割が期待されているかを考え、今後の農業の進むべき方向について理解を深めさせる。	○	○	(知) 農業経営に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (思) 農業経営に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 (態) 農業経営に関するプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
前期末	第2章 農業のマネジメント 1節 農業マネジメント 2節 生産のマネジメント 3節 組織のマネジメント 4節 会計によるマネジメント 5節 リスクのマネジメント	収益と費用の概念を正確に把握させるとともに、農業経営の収益目標が経営のかたちによってどのように異なるかを理解させる。 経営が、土地・労働・資本という生産の三要素の組み合わせにより成り立っていることを理解させる。 農産物流通の変化について理解させ、改善の方向や、マーケティングの重要性が高まる社会環境の変化について理解させる。 農業経営には、市場以外にも、地域や農協、さらには農政などの制度といった社会環境が影響する。これらにどう対応するかは農業経営の大きな課題であることを理解させる。	○	○	(知) 農業経営の管理と運営に関する基礎的な知識をもとに、経営改善のあり方とその手法について理解している。 (思) 農業経営の社会経済環境との関連を考慮して判断し、適切に表現している。 (態) 農業経営の管理と具体的な運営について興味・関心をもち、その実状について探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
後期中間	第3章 農業のマーケティング 1節 農業マーケティングの概要 2節 農業のマーケティング戦略 3節 農産物のブランド化	経営診断の目的と手段についての基礎を理解させる。 農業経営における診断指標が、何を診断するための基準として用いられているかを理解する。 経営設計とはどういう内容のものであるか理解させる。	○	○	(知) マーケティングの基礎的な知識を身につけ、実際に活用している。 (思) マーケティングの基礎的な知識と技術をもとに、経営において合理的に判断し、その過程を適切に表現している。 (態) 農業経営情報の収集と活用について、興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
後期末	第4章 農業経営のマーケティング活動 1節 市場調査と環境分析 2節 市場調査・環境分析の進め方 3節 農業経営の設計と診断	農業経営におけるプロジェクト学習の進め方を理解させる。 地域で農業経営改善に取り組む活動への参画を通して、または生徒自らの事業企画を通して、農業経営プロジェクトを実践させる。	○	○	(知) プロジェクトの成果と活用について理解している。 (思) プロジェクト活動の実践を通し、課題の解決を目指して思考を深め、農業経営の設計と経営管理を的確に判断し、マネジメント能力をもって経営管理の改善ができるよう、適切に表現している。 (態) プロジェクトの実践を通し、農業経営に関する諸課題に関心をもち、農業経営の設計と管理に意欲的、主体的に取り組む、経営管理の改善について探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材		なし			
学習目標	農業の体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。 経営と管理について理解を深め、企画力や管理能力などを身につける。 農業の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。						
学習方法	園芸の様々な栽培をおこない、草花、野菜の基礎的知識と栽培技術の習得をおこなう。 ○作物(水稲)の実習を通して、基礎的知識と技術の習得をおこなう。 畜産の実習を通して、和牛飼育の基礎的な知識と技術の習得をおこなう。 果樹栽培を通して、りんご栽培の基本的な知識と技術の習得をおこなう。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	よりよい社会の構築をめざして自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	オリエンテーション ・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知] 農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思] 体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態] 農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・実習記録 ・確認テスト
	前期 末	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知] 農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思] 体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態] 農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。
後期 中間		・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知] 農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思] 体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態] 農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。
	後期 末	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知] 農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思] 体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態] 農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業と環境	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者	農業と環境(実教出版)						
学習目標	農業生物の育成と環境の保全についての学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高める。農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。						
学習方法	栽培の基礎である成長の原理や生産技術の基本を習得する。 体験学習を重視し、実験・実習の繰り返しや調査・観察を重ねることにより、農業及び環境について学ぶ姿勢を身につける。 個人・グループ担当区を設定し、栽培・調査についての技術の習得を図るとともに、協力して学習を進める。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業と環境に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的な技術を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	栽培や環境に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	栽培と環境の関係性を理解し、生産性や品質の向上が経営につながることを理解している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							
学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
前期中間	農業・環境学習とは何か 農業と環境の学び方 農業と自然・社会との かかわり 日本の農業・農村と 食料供給 夏野菜の栽培	農業と環境のかかわり 農業や環境について学ぶ大切さ プロジェクト学習とは何か 人間と農業 世界の農業・食料・環境 日本の農業を支える自然環境 日本の農業・農村の姿 食料の流通・消費と食品産業 トウモロコシの一生と栽培計画 施肥・耕うん・うねたて・マルチング・播種・定植・除草 中耕・土寄せ 生育調査				[知]栽培や環境に関する基礎的な知識を身につけている。 [思]栽培や環境に関する条件を理解している。 [態]関係する様々な資料や情報を収集し、管理を理解している。	定期考査 ポートフォリオ 授業観察
	作物をとりまく環境と その管理 夏野菜の栽培 秋・冬野菜の栽培	作物栽培と環境 作物の生育と大気環境 作物の生育を支える土 除草・間引き 収穫・調査 栽培記録のまとめ ダイコン・ハクサイの一生と栽培 施肥・耕うん・うねたて・播種 生育調査 除草・間引き				[知]作物をとりまく環境とその管理について理解している。 [思]肥料の効果・土壌の関係を理解している。 [態]栽培条件が生育に与える影響を理解している。	定期考査 ポートフォリオ 授業観察
後期中間	環境の調査 作物をとりまく環境と その管理 環境の保全と修復・ 再生	生物調査 土壌の調査 作物の養分と肥料 作物をとりまく生物 環境保全と修復・再生とは 森林の保続と環境保全 農村の環境整備 身近な野生生物の保護				[知]作物をとりまく環境や環境の保全について理解している。 [思]栽培条件と養分の関係を理解している。 [態]環境保全や身近な生物の関係について理解している。	定期考査 ポートフォリオ 授業観察
	秋・冬野菜の栽培 家畜の特性と飼育	収穫・調査 プロジェクトのまとめ 家畜と飼育 おもな家畜の一生と生産 家畜の成長と繁殖 家畜の飼料と栄養 飼育環境の管理と整備 家畜と人間の新たなかかわり ニワトリの飼育の実際 乳牛の飼育の実際				[知]収量のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と収量の関係を理解している。 [態]家畜と飼育の重要性を理解している。また、人間との関りについて課題を見いだすことができる。	定期考査 ポートフォリオ 授業観察
後期末							

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業と情報	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材	農業と情報(実教出版)				
学習目標	<p>農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>ハードウェアとソフトウェアの仕組みを理解し、操作や処理を身に付けさせる。</p> <p>ネットワーク、インターネットを利用し、必要な情報の取捨選択ができ、効果的な利用ができるようにする。</p> <p>文書処理や表計算の基本・応用技術を習得し、課題解決のため合理的・創造的な問題解決能力を高める。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	学校での学習や実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。				
	思	思考・判断・表現	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。				
	態	主体的に取り組む態度	農業情報を活用した事例をもとに、農業や環境の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 私たちの生活と農業の情報化 ・情報社会における私たちの生活 ・情報とメディア ・情報社会とモラル ・農業を支える情報	情報処理教室のルール理解 情報の意義と役割 インターネット 情報の特徴・性質、メディアリテラシー 情報社会の光と影・情報化への対応 コミュニケーション(SNS) 個人情報 知的財産権の保護 データ活用の新しい農業				〔知〕 情報機器やソフトウェアの適切な操作ができる。情報社会のしくみや情報化に関する知識およびモラルについて理解できる。 〔思〕 情報社会のしくみや情報化、情報社会の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深めることができる。 〔態〕 情報社会のしくみや情報化に関心をもち、情報社会の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン	文書作成ソフトウェアの基本操作					
前期末	第2章 社会を支えるコンピュータ ・コンピュータの仕組み ・データや情報の表現 ・情報通信ネットワーク	ハードウェア・ソフトウェア コンピュータ処理されるデータ・情報の種類 ネットワークの仕組みと特徴・種類				〔知〕 コンピュータやネットワークの概要が理解でき、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 〔思〕 情報通信ネットワークに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 〔態〕 情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・文書作成と表現 ・データの集計と視覚化	文書作成の応用(ワープロ検定3級) 表の作成と表計算					
後期中間	第2章 社会を支えるコンピュータ ・インターネットのしくみ ・情報セキュリティ	インターネットの概要・電子メール 情報システムの脅威とセキュリティシステム				〔知〕 インターネットとセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に関して適切に選択し活用している。 〔思〕 最新の農業に関する情報システムの諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 〔態〕 スマート農業のしくみ、情報蓄積や管理の概念、シミュレーションの方法や考え方などに関心をもち、それらの課題や活用について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	第4章 スマート農業への展望 ・スマート農業をめざす将来	農業の課題と将来 精密農業 データとスマート農業 システム開発と設計・プログラムの設計					
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・データの集計と視覚化	表の作成と表計算、関数・グラフ					
後期末	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・データの集計と視覚化	表の作成と表計算、関数・グラフ				〔知〕 データの収集・蓄積・整理ができ、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 〔思〕 農業情報に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 〔態〕 農業情報や環境情報に関心をもち、地域の実態や学科の特色に応じた実践的な課題について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	第5章 農業の分析と活用 ・農業情報の収集と分析	外部情報・内部情報の収集と分析					

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農 業	科目名	野菜	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者	使用教材			野菜(実教出版)			
学習目標	○野菜の植物的特性や食生活における価値、農業の中での重要性などを理解する。 ○栽培や観察など体験的な学習を通して栽培管理の基本を理解し、栽培できる能力を養う。 ○調査や実験を通して科学的に考える力や問題を解決する能力を高める。 ○生産物の商品化や流通について基本的事項を理解し、経営に応用する資質を養う。						
学習方法	野菜への興味・関心を喚起するため、自ら実施・体験できる農場実習を多く配分し実践する。 座学では、教科書を基本に各野菜の栽培技術を理解させ、自ら栽培できる力を修得する。 施設野菜の水耕栽培(トマト)をおこない、土耕栽培との違いを観察し理解を深める。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業と環境に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術をみにつけようとしている。				
	思	思考・判断・表現	栽培や環境に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	栽培と環境の関係性を理解し、生産性や品質の向上が経営につながることを理解している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							
学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
前期 中間	第1章 野菜生産の役割と動向	野菜の種類と利用 野菜の消費 野菜の生産と供給 野菜の安定性	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術	野菜の生育と生理 野菜の栽培環境と生育調整 人工環境における栽培技術	○	○	○		
前期 末	第3章 野菜の品種改良の基礎	品種改良の目的と方法 育苗の目的と方法 育苗技術の実際と応用	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第4章 果実を利用する野菜の栽培	トマト 栽培方法の比較試験 スイートコーン スイカ	○	○	○		
後期 中間	第5章 葉や茎を利用する野菜栽培	ハウレンソウ コマツナ	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第6章 根を利用する野菜の栽培	ダイコン ニンジン	○	○	○		
後期 末	第7章 野菜の流通と経営改善	野菜の流通と鮮度保持 指定野菜と産地 加工・業務用野菜 普及するカット野菜や冷凍野菜 野菜生産の経営改善 消費者が要求する野菜とは	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	課題研究	単位数	3	履修学年・クラス	2A
担当者	使用教材						
学習目標	<p>農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>調査・研究・実験に関するプロジェクト学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ります。</p> <p>農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、「農業と環境」をはじめとするプロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付けて考え、考察する力を養い、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業の意義や役割を理解し、農業の各分野に必要な問題解決能力や自己教育力などの育成をするため、プレゼンテーションの基礎的な知識・技術を身につけ、データをまとめることができる。				
	思	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わるものとして適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	改善・向上を目指して主体的に取り組もうとすると共に、実践的な態度を身につけている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	課題設定	研究テーマを設定します。				[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	年間計画	研究計画を立案します。	○	○	○	[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	事前学習 事前調査	研究の実践方法を調査します。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	
前期末	飼養管理・栽培管理	飼育や栽培に関する様々な管理を行います。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	発育調査・生育調査	発育や生育に関する調査・研究をします。				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	データ整理	研究データの整理をします。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	

後期中間	飼養管理・栽培管理	飼育や栽培の管理を継続します。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	発育調査・生育調査	発育や生育に関する調査・研究を継続します。				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	データ整理	研究データの整理をします。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	
	花農祭での中間発表	研究のまとめを準備します					
後期末	研究のまとめ	研究データの解析をし、研究のまとめをします。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	科内プロジェクト発表会	発表原稿の作成 プレゼンテーションの作成				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 [態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者		使用教材	植物バイオテクノロジー(実教出版)				
学習目標	植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得する。 植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解する。 農業の各分野で植物バイオテクノロジーを活用する能力と態度を身につける。						
学習方法	植物のバイオテクノロジーに関する知識全般について広く学習する。 実体顕微鏡などを使用した観察実験により、植物の形態を学習する。 植物組織培養の基礎実験により、無菌培養の基礎実験や知識を学習する。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	植物バイオテクノロジーに関する基礎的・基本的な知識技術を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。				
	思	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、植物バイオテクノロジーの基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	農業に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	バイオテクノロジーとは	・バイオテクノロジーの歴史とあゆみ				[知]植物バイオテクノロジーの基礎となる知識技術を身に付け、その可能性を理解している。 [思]植物の細胞や分化、遺伝などの基礎をもとに、動物との違いについて考察し、表現できる。 [態]植物バイオテクノロジーに関心をもち、その基礎などを積極的に理解しようとしている。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	植物のからだ	・人間社会とバイオテクノロジー ・細胞 ・組織・器官					
前期末	植物の細胞分裂と分化	・分化全能性 ・植物ホルモン				[知]植物組織培養の基礎的な知識技術を身に付け、その意義や役割、課題を理解している。 [思]植物組織培養に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]植物組織培養に関心をもち、その基礎などを積極的に理解しようとする態度が見られる。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	植物の生殖と遺伝	・植物の生殖 ・遺伝					
後期中間	植物バイオの基礎実験	・MS培地原液作成 ・MS培地作成 ・無菌操作 ・茎頂分裂組織摘出				[知]植物育種の基礎となる知識技術を身に付け、その可能性を理解している。 [思]育種に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]植物の育種などに関心をもち、その方法を正しく生かした可能性を探求しようとする態度を身につけている。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	組織培養の方法	・培地の組成と調整 ・無菌操作 ・培養条件 ・順化とウイルス検定					
後期末	植物バイオの基礎実験	・無菌播種 ・茎頂培養 ・器官培養 ・薬培養 ・胚培養 ・茎頂培養 ・継代培養 ・植物組織観察				[知]バイオマスや植物バイオテクノロジー実験の基礎となる知識技術を身に付け、その可能性を理解している。 [思]環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]バイオマスや植物バイオテクノロジーの成果に関心をもち、その基礎を積極的に理解しようとする態度を身につけている。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	細胞融合	・細胞融合の目的 ・細胞融合の方法					
後期末	植物バイオの成果	・植物DNAの抽出 ・プロトプラストの作出 ・継代培養				[知]バイオマスや植物バイオテクノロジー実験の基礎となる知識技術を身に付け、その可能性を理解している。 [思]環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]バイオマスや植物バイオテクノロジーの成果に関心をもち、その基礎を積極的に理解しようとする態度を身につけている。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	エネルギー変換利用	・バイオマスとは ・バイオマスとは微生物 ・バイオマスエネルギー変換利用 ・バイオ燃料					
後期末	植物バイオの展望	・植物DNAの抽出 ・プロトプラストの作出 ・継代培養				[知]バイオマスや植物バイオテクノロジー実験の基礎となる知識技術を身に付け、その可能性を理解している。 [思]環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]バイオマスや植物バイオテクノロジーの成果に関心をもち、その基礎を積極的に理解しようとする態度を身につけている。	・レポート ・授業観察 ・実験態度 ・考査
	植物バイオの基礎実験	・植物バイオの成果 ・遺伝子資源の保存 ・植物バイオの課題 ・植物バイオの展開 ・化学薬品の取扱い ・実験機器の操作					

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	畜産	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者		使用教材	畜産(実教)				
学習目標	家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得する。 家畜の特性や飼育環境を理解する。 合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。						
学習方法	本校で飼育している肉牛について実験・実習を通して理解を深める。 家畜の種類や飼育状況について取り上げ、畜産の社会的役割、家畜の飼育や畜産物の利用上の特徴、さらには諸問題や可能性について考察や食生活や地域の畜産の実態などの具体的な事例を通して、畜産物生産、流通、利用及び畜産と地域環境との関係について考察させる。 畜産物の生産が消費までのフードシステムや安全な食品を供給するための食品トレーサビリティシステムなどについて取り上げる。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業の意義や役割を理解している。家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	はじめに 畜産を学ぶにあたって 畜産とプロジェクト	畜産におけるプロジェクト学習				[態]家畜や飼料の種類・利用に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと学習に意欲的に取り組んでいる。 [思]畜産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に判断している。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	日本の畜産の特徴と役割 日本の畜産の特徴 畜物の需給の動向 畜産の役割と課題 動物の生理・生態と飼育環境 家畜と飼料 家畜の栄養と栄養素 飼料の特性と給与	世界の中の日本の畜産 輸入穀物飼料に依存する日本の畜産 畜産物の需要の動向 畜産の課題 家畜と家畜化 動物の消化器官 アニマルウェルフェアに配慮した飼育管理 家畜と栄養 栄養素と疾病 飼料の要件と分類 家畜の栄養要求量と給与		○	○	[知] 畜産に関する飼料の種類を理解し、飼料と反すうについて考察し、給与することができる。 畜産および飼料に関する基礎的な知識を身に付け、畜産の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて理解している。	
前期末	肉牛の飼育	肉牛の特性 肉牛の品種と選び方 肉牛の肥育	○	○	○	[態]ニワトリや肉牛に興味・関心を持ち、その品種および消化器の働きについて理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]ニワトリの品種による用途や繁殖について理解し、過程を自ら考察しその結果を適切に表現できる。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	家畜の飼育	ニワトリの特性 ニワトリの品種と選び方 ニワトリの繁殖生理 採卵鶏と肉用鶏	○	○	○	[知] 卵の構造について観察することができる。また、肉牛の繁殖について理解し経営方法を考察することができる。 肉牛の品種および体の特徴について基礎的な知識を身に付けている。また、消化器の特徴を理解し、健康状態との関係について理解している。	
後期中間	家畜の飼育	ブタの特性 ブタの品種と選び方 ブタの繁殖 肉豚の肥育 豚肉の流通 ブタの病気と予防衛生	○	○	○	[態]ブタの特性と品種について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]ブタの品種とその繁殖についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
						[知] 肉牛のからだの特徴について理解し、計測することができる。黒毛和種の分娩予定日を計算できる。 ブタの品種および体の特徴について基礎的な知識を身に付けている。豚肉の等級と流通について理解している。	
後期末	肉牛の生理と飼育技術	肉牛の生理と飼育のポイント 子牛の生理と飼育技術 若雌牛の育成と繁殖雌牛の飼育 肥育牛の生理と飼育技術				[態]肉牛の生理・飼育および畜産生産物やその利用に興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	乳牛の管理	牛乳の品種と特徴 牛乳の処理・加工と成分				[思]繁殖性の向上、肉量と肉質、乳および乳製品の定義と成分規格についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [知] 関係する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 子牛や肥育牛の生理と飼育技術および畜産生産物やその利用について基礎的な知識を身に付け、理解している。	

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業と情報	単位数	履修学年・クラス	2A
担当者	使用教材 農業と情報(実教出版)					
学習目標	<p>農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>					
学習方法	<p>ハードウェアとソフトウェアの仕組みを理解し、操作や処理を身に付けさせる。</p> <p>ネットワーク、インターネットを利用し、必要な情報の取捨選択ができ、効果的な利用ができるようにする。</p> <p>文書処理や表計算の基本・応用技術を習得し、課題解決のため合理的・創造的な問題解決能力を高める。</p>					
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨				
	知 知識・技能(技術)	学校での学習や実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。				
	思 思考・判断・表現	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。				
	態 主体的に取り組む態度	農業情報を活用した事例をもとに、農業や環境の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ちながら、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。						

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第3章 コミュニケーションと情報デザイン	3 データ集計と視覚化 表計算ソフトウェアの概況 表の作成と表計算 様々な関数	○	○	○	[知] 情報機器やソフトウェアの適切な操作ができる。 情報社会のしくみや情報化に関する知識およびモラルについて理解できる。 [思] 情報社会のしくみや情報化、情報社会の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深めることができる。 [態] 情報社会のしくみや情報化に関心を持ち、情報社会の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン	3 データ集計と視覚化 グラフの作成	○	○	○	[知] コンピュータやネットワークの概要が理解でき、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 [思] 情報通信ネットワークに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
前期末	4 データベースシステムとオープンデータ	データベースのソフトウェア オープンデータの利用	○	○	○	[思] 情報通信ネットワークに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [態] 情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	
	5 画像・図形処理	画像・図形処理 ペイント系ソフトウェア	○	○	○		

後期中間	5 画像・図形処理	画像・図形の応用 動画編集	○	○	○	[知] インターネットとセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に關して適切に選択し活用している。 [思] 最新の農業に関する情報システムの諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [態] スマート農業のしくみ、情報蓄積や管理の概念、シミュレーションの方法や考え方などに関心を持ち、それらの課題や活用について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	6 プレゼンテーション	基本操作	○				
	7 情報発信	Web概要 Web作成 Web公開 Web評価と改善	○	○	○		
後期末	第6章 農業学習と情報活用	農業学習と情報処理 プロジェクト学習	○	○	○	[知] データの収集・蓄積・整理ができ、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 [思] 農業情報に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [態] 農業情報や環境情報に関心を持ち、地域の実態や学科の特色に応じた実践的な課題について探求しようとしている。	演習 ファイル提出 レポート提出 授業観察 考査
	プロジェクト発表	発表	○	○	○		

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者	使用教材						
学習目標	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
学習方法	作物・畜産・園芸・果樹・バイオの各分野から1分野を選択し、実習を通して農業の総合的な知識、技術を習得させます。 農業の各分野に関する実践的・体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を体系的・系統的に習得できるようにして、経営や管理、及びその活用について理解を深め、企画力や管理能力、活用技術などを身に付けて、農業の各分野の改善に向けて取り組むことができるようにする。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業の各分野における総合的な技術の習熟と、各科目における知識の確認と検証を通して総合的な技術に関する課題を発見し、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力をわけている。				
	態	主体的に取り組む態度	農業の各分野における自らの職業生活について考えながら、農業の総合的な知識や技術、経営や管理について企画力や管理能力、活用技術などを学ぶ中で、農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	課題設定	研究テーマを設定します。				[知]農業の基礎的な知識が身についている。	確認テスト レポート 授業観察
	年間計画	研究計画を立案します。	○	○	○	[思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。	
	事前学習 事前調査	研究の実践方法を調査します。				[態]農業について興味があり、基礎的な技術を身に付けている。	
前期末	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業の基礎的な知識が身についている。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。 [態]農業について興味があり、基礎的な技術を身に付けている。	確認テスト レポート 授業観察
	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業の基礎的な知識が身についている。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。 [態]農業について興味があり、基礎的な技術を身に付けている。	確認テスト レポート 授業観察
後期中間	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業の基礎的な知識が身についている。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。 [態]農業について興味があり、基礎的な技術を身に付けている。	確認テスト レポート 授業観察
	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業の基礎的な知識が身についている。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。 [態]農業について興味があり、基礎的な技術を身に付けている。	確認テスト レポート 授業観察

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業機械	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材		農業機械(実教)				
学習目標	農業機械化の意義と役割、またその利用と現状を把握する。 農業機械の操作に伴い、道路交通法等を学び基本運転操作を身につけ、事故防止に努める。 様々な機械の作業を通じて機械名と作業手順を把握する。 内燃機関・電動機について学び、使用燃料と動力伝達について理解する。						
学習方法	トラクターの基本操作と作業機の構造を確認して、安全な作業について学ぶ。 機械の点検整備、作業効率と機械を長持ちさせる技術を学ぶ。 機械を利用した農業生産を学ぶ。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業機械に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業機械の意義や役割を理解し、取扱いと正確・安全な運転操作を身に付け、その技術を適切に活用している。				
	思	思考・判断・表現	農業機械の維持管理に必要な知識と技術を基に、農業機械を利用する者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	農業機械に関する諸課題に主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	農業機械の役割	・農業機械化の意義 ・農業機械の利用とその現状	○			[知]農業を取り巻く社会変化とともに、農業機械の利用法等が変化してきていることを理解し、機械の基本操作など基礎的な技術を身に付けている。 [思]機械化による利点について考察できる。 [態]農業機械に関心を持ち、その構造などを積極的に理解しようとしている。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	作業機	・耕うん、整地用機械 ・たねまき機、育苗用機械 ・移植機の基本操作 ・除草機	○	○			
前期末	トラクタ	・乗用トラクタの種類と基本操作 ・作業機の装着	○	○			
	原動機	・種類 ・4サイクルガソリンエンジンの作動原理 ・4サイクルガソリンエンジンの構造 ・そのほかのエンジン ・燃料と潤滑油 ・電動機の種類と回転原理 ・三相誘導電動機の取扱い			○	[知]原動機の基礎となる知識を身に付け、安全な運転操作を理解し、トラクタに関する安全基本操作技術に活用する。 [思]原動機に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]エンジンの構造に関心を持ち、その作動原理などを積極的に理解しようとしている。	確認テスト レポート 授業観察 考査

後期中間	○トラクタ	・乗用トラクタの種類と基本操作 ・点検調整		○		[知]原動機の基礎となる知識を身につけ、安全な運転操作を理解し、作業機の構造に関心を持ち、その作動原理などを積極的に理解しようとしている。 [思]作業機に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]農業機械に関心を持ち、その構造などを積極的に理解しようとし、機械の基本操作など基礎的な技術を身に付けている。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	○作業機	・歩行用トラクタ ・飼料作用収穫・調整機械	○		○		
後期末	作業機	・運搬用機械の種類と操作方法 ・環境調節用機械の利点と構造	○	○	○	[知]農業機械による事故防止の方法を身に付け、機械化の経済性を理解し、機械の基本操作、機械による作業の効率について計算できる。 [思]作業事故に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [態]農業機械の安全性を理解するとともに、機械化による農業生産を積極的に理解し、機械の基本操作、機械による作業の効率について計算できる。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	農業機械と安全	・農作業による事故と健康障害			○		
	農業生産と農業機械の利用	・農業生産における農業機械の利点	○				

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	生物活用	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材		生物活用(実教)				
学習目標	園芸作物の栽培に必要な知識と技術を習得する。 加工や活用を実際を知識として身に付ける。 草花や作物の特性と栽培に適した環境を理解する。 品質や生産性を向上できる能力を体得する。						
学習方法	園芸作物の活用方法について、その特性や栽培技術・活用を体験的に学習します。 園芸福祉に関する学習をします。 園芸作物を利用した園芸福祉(花壇づくり・ハーブ・リース)について実践学習します。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	園芸作物と社会動物の活用に必要な知識と技術、園芸と動物を活用したセラピー分野に関する基礎的な知識を身に付け、生活の質の向上や健康の改善を図るための必要な園芸セラピーの活用方法を理解しているか。				
	思	思考・判断・表現	園芸作物と社会動物の特性及び園芸と動物を活用したセラピーの特性や、その利用分野に関する基本的な知識と技術を活用して、生活の質の向上や健康の改善に関する諸課題を主体的に解決していく能力を発揮しているか。				
	態	主体的に取り組む態度	園芸作物と社会動物の特性及び園芸と動物を活用したセラピーの利用分野に関心を持ち、生活の質の向上や健康の改善の向上に積極的に貢献する態度を持っているか。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	生物活用の意義と役割	・生物活用とは何か ・生物活用とプロジェクト学習				[知]草花の種類や特性について理解し、計画を立て積極的に取り組むことができる。 [思]園芸の効果について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。また、花壇づくりの楽しみや管理や活用方法、交流活動などについて考える。 [態]暮らしの中の園芸や園芸の持つ効果について、関心を持ち積極的に活用、改善しようとする態度を身につける。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	園芸作物の栽培と活用	・植物・園芸と人間生活 私たちの暮らしと園芸 植物・園芸がもたらす効用 ・草花の栽培と活用 草花の種類と特性 花壇の活用と管理	○	○	○		
前期末	野菜・ハーブ栽培と活用	野菜の種類と特性 野菜の栽培 野菜の加工・利用 コンテナ栽培 キッチンガーデン	○	○	○	[知]草花の種類や特性について理解し、計画を立て積極的に取り組むことができる。 [思]草花の効果について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。また、草花の楽しみや機能性を理解し、生活を改善することができる。 [態]暮らしの中の園芸や園芸の持つ効果について、関心を持ち積極的に理解しようとする態度を身につける。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査

後期中間	園芸療法	園芸療法 園芸療法とは 世界や日本における園芸療法の実際 プログラムを考える		○	○	[知]園芸福祉の歴史と現状について理解し、生活の質の向上や健康の改善を図るための活用方法を理解したか。 [思]園芸療法および動物介在療法の特徴について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。 [態]園芸福祉の持つ効果に関心を持ち、積極的に理解しようとする態度を身につける。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	動物介在療法	動物介在療法とは 世界や日本における動物介在療法の実際 プログラムを考える	○		○		
後期末	リースづくり	・リースとその作り方 リースの特徴 材料収集 クリスマスリースの制作			○	[知]コミュニケーションの重要性とそれを行う交流活動について理解し、実生活に積極的に取り組むことができる。 [思]交流活動の目的を理解し、企画を立案する。また実施した交流活動を評価改善し、まとめることができる。また、リースの特徴を理解し、それを表現しようとする。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	生物活用の実践	・交流活動の心がまえ 交流活動の大切さ 交流活動の心がまえ	○	○	○	[態]交流活動の調査等に参加し、他者とのコミュニケーションを図りながら、自己の役割を果たそうとする。また、リースづくりに意欲的に取り組む。	
	交流活動の実際	交流活動実施の流れ 対象者の理解 活動計画の立案・実施・まとめ	○	○	○		

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	果樹	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材 果樹(実教)						
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を育成する。						
学習方法	○果実の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を学習する。 ○果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する学習を行う。 ○果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む学習を行う						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	果樹について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	果樹に関する課題を発見し、果樹や果樹関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	果樹について基礎的な知識と技術が果樹の各分野で活用できるよう自ら学び、果樹の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 果樹の種類と果樹栽培の動向	1. 果樹の種類と果実の利用 3. 果樹とプロジェクト学習	○			[知] ・果実生産の役割と動向について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・果実生産の特性と栽培技術について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果実生産の役割や動向に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 ・果実生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第2章 果樹の生育と栽培環境	1. 果樹の生育と生理 2. 果樹栽培と環境		○			
	第5章 リンゴ	摘蕾・摘花・摘果 人工授粉、訪花昆虫			○		
前期末	第3章 果樹の栽培管理	1. 苗木の育成 2. 開園と更新 3. 土壌管理 4. 栄養と施肥 5. 水分管理		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	見直し摘果 夏季せん定 袋かけ			○		

後期中間	第3章 果樹の栽培管理	6. 結実管理 7. 結果調節 8. 結果習性と整枝・せん定 9. 気象災害の防止 10. 病害虫の防除		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	葉摘、玉回し 収穫			○		
後期末	第3章 果樹の栽培管理	11. 植物生長調整剤の利用 12. 施設栽培と特殊栽培		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	1. 栽培上の特性と品種 2. 生育の姿と栽培管理 収穫・選果 せん定 5. 栽培の評価と経営計画			○		

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	課題研究	単位数	3	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材						
学習目標	<p>農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>調査・研究・実験に関するプロジェクト学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ります。</p> <p>農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、「農業と環境」をはじめとするプロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付けて考え、考察する力を養い、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業の意義や役割を理解し、農業の各分野に必要な問題解決能力や自己教育力などの育成をするため、プレゼンテーションの基礎的な知識・技術を身につけ、データをまとめることができる。				
	思	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わるものとして適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	改善・向上を目指して主体的に取り組もうとすると共に、実践的な態度を身につけている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	課題設定	研究テーマを設定します。				[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	年間計画	研究計画を立案します。	○	○	○	[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	事前学習 事前調査	研究の実践方法を調査します。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	
前期末	飼養管理・栽培管理	飼育や栽培に関する様々な管理を行います。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	発育調査・生育調査	発育や生育に関する調査・研究をします。				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	データ整理	研究データの整理をします。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	

後期中間	飼養管理・栽培管理	飼育や栽培の管理を継続します。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	発育調査・生育調査	発育や生育に関する調査・研究を継続します。				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。	
	データ整理	研究データの整理をします。				[態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	
	花農祭での中間発表	研究のまとめを準備します					
後期末	研究のまとめ	研究データの解析をし、研究のまとめをします。	○	○	○	[知]農業に関する現状について理解している。	確認テスト レポート 授業観察
	科内プロジェクト発表会	発表原稿の作成 プレゼンテーションの作成				[思]農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 [態]農業に関する諸課題について、主体的かつ協働的に取り組む。	

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農 業	科目名	草花	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材		草花(実教出版)				
学習目標	草花に関する栽培および流通、加工、販売、利用の基本的な知識と技術を習得する。 草花に関する栽培環境を理解する。 栽培や観察など体験的な学習を通して栽培管理の基本的方法を理解し、栽培できる能力を養う。						
学習方法	生産園芸(草花を商品として販売する)の重要な種類について、生理・生態的な特性の理解を深める。 本校で栽培している草花について、実験・実習を通して理解を深める。 販売実習を通して草花の流通や地域との関連について理解を深める。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	農業と環境に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術をみにつけようとしている。				
	思	思考・判断・表現	栽培や環境に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	栽培と環境の関係性を理解し、生産性や品質の向上が経営につながることを理解している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							
学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
前期 中間	第1章 草花を学ぶにあたって	・草花とプロジェクト学習(シクラメン栽培)				[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探究しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第2章 草花生産と消費の動向	・草花園芸の特徴 ・草花生産と消費の動向					
前期 末	第3章 生活と草花の利用	・草花の多面的利用 ・園芸デザイン				[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探究しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第7章 花壇用草花生産	・花壇用草花の特色 ・花壇用草花の利用と定植後の管理 ・花壇用草花の栽培					
後期 中間	第5章 切り花生産	・切り花生産の特色 ・切り花の品質保持 ・一・二年草の切り花 ・宿根草の切り花 ・球根の切り花 ・花木の切り花				[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探究しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第6章 鉢もの生産	・鉢もの生産の特色 ・鉢ものの生産資材と商品化技術 ・花鉢もの シクラメン					
後期 末	第8章 草花経営の改善	・ラン類 ・観葉植物 ・サボテンと多肉植物 ・草花の生産と経営 ・ユニバーサル農業の視点 ・経営改善プロジェクト				[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探究しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科

教科名	農業	科目名	地域資源活用	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者		使用教材	地域資源活用(実教)				
学習目標	地位資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の進捗や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。						
学習方法	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性について、農山村と都市の取組と課題を調べる。 農林業・農山村の特色を活かした生活体験を提供する活動などを体験する。 地域振興の担い手として、地域と連携し、地域資源を活用したグリーンツーリズムや商品開発、市民農園運営などの実践を行う。						
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨					
	知 知識・技能(技術)	学習を通して、農林業・農山村の実態や地域社会の在り方、そこで新たな仕事を産み出す起業活動などに関連する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。					
	思 思考・判断・表現	体験活動から社会的起業家の事例を通して、地域資源を活用した地域の振興について、環境への配慮や法令遵守などの職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力が養われている。					
	態 主体的に取り組む態度	地域資源に関する新たな価値の創造などに主体的かつ協動的に取り組む態度が養われている。					
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 地域資源活用とは 1) 地域資源とその活用 2) 地域資源活用とプロジェクト学習	移り変わる農山村へのまなざし 地域資源と地域資源活用とは プロジェクト学習とは 科目におけるプロジェクト学習の進め方 地域資源活用におけるプロジェクト学習のPDCA				【知】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント 授業態度 課題
	第2章 農山村社会の変化と地域振興 1) 農山村と都市の現状と変化	農山村・都市の連携とSDGs 農業・農村の多面的機能と地域活性化				【態】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	
前期末	第3章 地域資源活用の意義と役割 1) 地域資源の魅力と価値	地域資源の魅力 地域資源の発見・保全とその活用 農村景観、文化と人 農山村における方策				【知】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント 授業態度 課題
	第4章 地域資源の価値と活用 1) 地域資源の見つけ方と活用 2) 観光への活用	地域資源の発見・活用・評価のサイクル 都市と農山村の共生・対流 景観を生かしたツーリズム				【態】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	
後期中間	第4章 地域資源の価値と活用 3) 商品開発への活用	商品開発とは 商品開発の実施				【知】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント 授業態度 課題
	第3章 地域資源活用の意義と役割 3) 異業種連携と商品価値の創造 4) 地域資源活用の実践と課題	異業種連携と起業 異業種連携による新たな価値の創造 地域活性化の核となる人物				【態】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	
後期末	第4章 地域資源の価値と活用 4) 教育・福祉への活用	教育への活用 福祉への活用				【知】地域資源の価値と活用及び地域との連携について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源の価値と活用及び地域との連携に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント 授業態度 課題
	第5章 地域と連携した活動 1) 農業のユニバーサルデザイン化	農業のユニバーサルデザイン化 作業の標準化 3S活動				【態】地域資源の価値と活用及び地域との連携について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材						
学習目標	<p>農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする</p> <p>農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>作物・畜産・園芸・果樹・バイオの各分野から1分野を選択し、実習を通して農業の総合的な知識、技術を習得させます。</p> <p>農業の各分野に関する実践的・体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を体系的・系統的に習得できるようにして、経営や管理、及びその活用について理解を深め、企画力や管理能力、活用技術などを身に付けて、農業の各分野の改善に向けて取り組むことができるようになる。</p>						
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨					
	知 知識・技能(技術)	農業の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。					
	思 思考・判断・表現	農業の各分野における総合的な技術の習熟と、各科目における知識の確認と検証を通して総合的な技術に関する課題を発見し、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力をわけている。					
	態 主体的に取り組む態度	農業の各分野における自らの職業生活について考えながら、農業の総合的な知識や技術、経営や管理について企画力や管理能力、活用技術などを学ぶ中で、農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。					
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	課題設定	研究テーマを設定します。	○	○	○	[知]農業を総合的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 [思]農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決しようとする。 [態]農業の総合的な経営や管理が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	確認テスト レポート 授業観察
	年間計画	研究計画を立案します。					
	事前学習	研究の実践方法を調査します。					
	事前調査						
前期末	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業を総合的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 [思]農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決しようとする。 [態]農業の総合的な経営や管理が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	確認テスト レポート 授業観察
後期中間	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業を総合的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 [思]農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決しようとする。 [態]農業の総合的な経営や管理が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	確認テスト レポート 授業観察
後期末	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択する専攻学習	作物・畜産・草花・野菜・果樹の各分野から1分野を選択し、栽培・飼育の仕組みと育成環境や管理の実際、収穫物の加工と利用について学習する。	○	○	○	[知]農業を総合的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 [思]農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決しようとする。 [態]農業の総合的な経営や管理が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	確認テスト レポート 授業観察